



何のために

対話力の向上を目指す授業づくりを通して

自ら問題を発見し、解決する児童の育成

教師の単元デザインする力をつけるため
児童に問題発見・解決能力をつけるため



児童に対話力(聞く力・伝える力)をつけるため



基礎基本の定着を図るため
学習する習慣をつけるため



学習規律の定着のため



自己肯定感を向上させ、自ら進んで行動することができるようにするため



プラン	取組内容 太字は授業の重点	Dチーム アシスト：A チェック：C	指導力向上検証	学力の検証方法	
単元・授業	進んで問題を発見し、解決したくなる 単元づくり	① Unit building 教師 ・ゴールを明確にもち、どの時間に4つの思考スキル(比較, 分類, 関連, 根拠)を使うのか, どんな力をどの時間に身に付けるのかを計画するために unit building シートを作成する。(学期に1本) ・単元末に教師自身が振り返りを書く。(自分が決めた教科) 児童 ・単元末に「まとめ」と「振り返り」を書き, 自分の思いや考えをまとめる。 ・単元末にテストと一緒に活用問題を行う。(理科・社会を中心)	C: K-UPタイムでの確認 A: 使える教材フォルダへの保存 A: 単元プランシート A: K-UPチェック	C: 授業チェックシート C: 管理職によるモニタリング C: 研究授業でのTCやビデオ撮影 C: 研究授業指導案 C: unit buildingシート(教師の振り返り) C: 児童の単元末のまとめと振り返り	【単元末テスト】 【全国学力・学習状況調査・基礎学力調査の再実施】 【児童・教師アンケート】 【質問紙調査の比較】
	対話力を育てる 授業づくり	① 視点を明確にした活動 ・何のために調べるのか, 何をどのように考えるのか, 話し合うのかなど「見通し」や「話し合い」の視点を明確にする。 ② STT(Stop to think)場面の設定 ・児童の意見を教師がしっかりと見取り, ねらいに迫る大切な発言では, 必ず立ち止まって考えさせるために問い返しの発問を入れ, 聞いたことをアウトプットさせる場を設定し, 聞く必要感をもたせる。			
	その他	学び合い言葉 ~聞く力バージョン~ ・意識させるために, K-UPシールを付けていく。使わせる褒めるの繰り返し!! ・ペアやグループ活動では, 学び合い言葉を使って一往復半以上の話し合いをする。	A: 放送などでのよびかけ C: 授業チェックシート		
帯タイム・家庭学習	基礎基本を支える 指した帯タイム	条件作文 ・毎週火曜日, 朝自習で条件作文に取り組み, チャレンジタイムに推敲する。 ・月一回程度, 学力調査問題に取り組み。 前学年の問題 ・朝自習の時間に前学年の問題に取り組み, チャレンジタイムに解説を聞き丸付けする。 言葉のきまり プリント算数・国語 ・朝自習で取り組み, チャレンジタイムに解説を聞き丸付けする。 ・並行学級と相談して問題を確認し, 同じように取り組む。 ・チャレンジタイムで正答率が低い問題に取り組む。	Dチームアシスト：A チェック：C C: K-UPタイムでの確認 A: 条件作文用紙配布	【全国学力・学習状況調査・基礎学力調査の再実施】 【単元末テスト】 【K-UP検定】	
	学びを自覚する宿題	K-UPノート(授業を思い出しながら自学ノートにまとめる) 【5・6年生】 毎日授業を思い出しながら1ページにまとめる。 【3・4年生】 土日の宿題として行う。 【1・2年生】 様子を見て行う 土日の社会・理科プリント ・土日の宿題として社会・理科のプリントを出し, 定着を図る。	C: K-UPタイムでの確認 C: 実施確認表でのチェック		
	K-UP検定	・漢字や計算などその学年, その学期に習得しなければいけない内容を学期末に繰り返し行着を図る。	C: K-UPタイムでの確認		
	規程	鹿島小5つの構え K-UP大作戦 ・学習規律を学校で揃えるために鹿島小5つの構えの徹底をはかる。	A: 表彰 A・C: 実施状況廊下掲示		
人間関係	自己肯定感の向上 ピア・サポート活動 ・たてわり班活動や学校行事などで「お世話する体験」「お世話される体験」をし, お互いにありがとうメッセージを書く。 キラキラハート ・お互いの良さを見つけて, 伝え合う。	A: メッセージカードの準備			

DOチームの
確実なアシストとチェック